



NO LIMIT!

CSR Report 2022

合同会社ユー・エス・ジェイ CSR レポート 2022

UNIVERSAL STUDIOS JAPAN

Contents

1	社長メッセージ
2	新たに制定したコーポレート・ステートメントに関して
4	CSRにおけるスローガン NO LIMIT! Future for All
6	Diversity, Equity & Inclusion DEIの取り組み 1. LGBTQ+ 2. NO BORDERS 3. 障がい者雇用
8	Environment エンバイロメント(環境)への取り組み 1. 温室効果ガス排出削減強化への取り組み 2. プラスチックや食料廃棄物削減への取り組み 3. 水資源の節約に関する取り組み
10	Community Relations 公民連携・企業連携への取り組み 1. 支援学校・院内学級の子どもたちへ、クリスマス・イベントを開催 2. 大学プログラムの開講 3. チャリティ・ディナーショー
12	コロナ禍の地域の子どもたちのための活動
13	さまざまな人々の心に寄り添う取り組み
14	大阪府育英会USJ奨学金制度
16	これまでの受賞や評価

社長メッセージ



社長CEO J.L. ボニエ
President and CEO J.L. Bonnier

合同会社ユー・エス・ジェイは、テーマパーク「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」の運営を通じて、ゲストに「ワールドクラスの体験」を提供すべく、全力を尽くしてきました。私たちは、これからも世界のエンターテインメント・リーディングカンパニーをめざし、ユー・エス・ジェイ独自の革新性と創造性をもって、刺激あふれるエンターテインメントを創出し続けたいと考えます。そして、私たち自身や社会の未来を見据えて、それぞれの進化を後押しする存在でありたいと願っています。

私たちのビジネスは、地域社会によって支えられており、その課題の解決や発展に携わることは私たちの使命です。今後も、福祉、教育、文化、雇用などに加え、環境への配慮や多様性も尊重し、積極的に社会に貢献していきます。また、地域の皆さまのよき隣人として、さらに信頼関係を築き、愛され、支持される存在になるよう努めます。

私たちの理想は、すべての人々が「毎日を前向きなパワーで過ごす」社会です。そのためにも、私たちが今まで培ってきたエンターテインメントの力を最大限に発揮し、地域のリーダーや多彩なコミュニティと協力しながら、さまざまな活動に今後も取り組む所存です。

このレポートでは、私たちの取り組みと、それぞれの活動にかける思いを紹介しています。ぜひご覧いただき、私たちの新たな力となっている一つひとつの取り組みをご理解ください。

USJ LLC has been fully committed to providing our guests with a world-class experience by operating the theme park Universal Studios Japan. We at USJ LLC hope to continue to create exciting entertainment by leveraging our own innovativeness and creativity as a leading global entertainment company. We also hope to encourage ourselves and society to further evolve in view of our own and society's future.

The local community underpins our business. Therefore, we have a mission to work to resolve challenges faced by the local community and facilitate its development. We will continue to contribute actively to the good of society in a wide range of fields, including welfare, education, culture, employment, the environment, and diversity. We will also strive to earn the love and support of local people as their good neighbor.

Our goal is to help build a society where everyone can lead their daily lives with positive power. To achieve the goal, we will continue to implement various initiatives in cooperation with local leaders and various communities by fully demonstrating our long-developed capability of offering world-class entertainment.

This report details our efforts in giving back and how we hope to make a difference. I hope that this report will be a good guide to each of our initiatives, which constitute a new source of power for us.

合同会社ユー・エス・ジェイでは、企業の存在理由を伝える以下のコーポレート・ステートメントを、2022年、新たに制定しました。

超エンターテインングな 創造力で、人と社会に 「目覚め」を。

1915年、映画制作の舞台裏を人々に開放するという常識を超える発想で、かつてない刺激的な体験を提供したユニバーサル・スタジオ。以来、100年を超える歴史の中で、常にその根底には、枠にとらわれないイノベティブな創造力で人々を楽しませたいというスピリットがありました。

そして2001年、初めてアメリカを飛び出し大阪に誕生したユニバーサル・スタジオ・ジャパンにも、想像を超える驚きに満ちたエキサイティングな体験があふれています。

多様性を尊重、常に人々の真のニーズを理解し、あらゆる人々を日常から解放して元気にしたい、そんな思いから生まれる多彩で刺激的なエンターテインメントの数々が、人々が明日へと前向きに突き進むためのパワーとなり、そして社会が未来へ向かって進化するためのスパイスとなるよう、私たちはこれからも、エンターテインメントの常識を超える超エンターテインングな創造力でチャレンジし続けます。

1. CSRにおけるスローガン

NO LIMIT! Future for All

すべての未来に限界はありません。
私たちはこれからの社会のために
活動を続けます。

2. テーマパークビジネスにおけるスローガン

NO LIMIT!

限界のない突き抜けた超刺激的な
エンターテインメントで想像を超える
超興奮と超感動を生み出し、
ココロとカラダを解き放って、
ゲストに超元気を届けます。

3. 社内(従業員)スピリットの向上におけるスローガン

NO LIMIT! Spirit

エンターテインメントの力を信じ、
自分たちに限界を設けず、
昨日の自分を超えていきます。

コーポレート ブランディングにおける、 3つのターゲット& スローガン

コーポレート・ステートメントは、合同会社ユー・エス・ジェイが行う「社会貢献活動」、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンが「ゲストに提供する価値」、さらに「従業員のスピリット」、それらすべてのコアであり、一貫したコミュニケーションの軸となります。

CSRにおけるスローガン NO LIMIT! Future for All

すべての未来に限界はありません。
私たちはこれからの社会のために活動を続けます。

本「CSR レポート 2022」では、“NO LIMIT! Future for All”のもと、
3つの活動を柱に限界を設けない創造力でチャレンジし続ける、社会貢献
活動についてレポートします。

Diversity, Equity & Inclusion

すべての人々の未来に限界はありません。
私たちは多様性を尊重し、ともによりよい未来を創造します

Environment

地球環境の未来に限界はありません。
私たちはイノベーティブな創造力で取り組みます

Community Relations

地域コミュニティの未来に限界はありません。
私たちは地域社会を元気にする活動を広げてゆきます



病と闘う子どもたちに笑顔を



温室効果ガス排出削減を強化



誰もが輝ける社内環境づくり



若者の未来をサポートする奨学金制度



社会貢献活動を後押しするチャリティ・イベント

DEI (ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン)の取り組み



私たち合同会社ユー・エス・ジェイは常にゲストの期待を超え、心の底から超興奮、超感動できる“NO LIMIT!”なエンターテインメントを生み出すことで世界中を元気にすることをめざしています。また、今後、さらに独自性と競争力を高めていくためには、有能な人材の獲得は必須であると私たちは認識しています。多くのゲストに興奮と感動を与えるこのような業界だからこそ、多様性を認め合い個人の力を活用していくことが、ビジネスの成長につながることは間違いありません。

多様性を受け止め、公正性のある観点で従業員それぞれの個性を大切に、その力を“NO LIMIT!”に発揮できる職場づくりが私たちのめざすもの。まだ取り組み始めたばかりですが、反響は少しずつ表れています。生き生きと楽しく働く仲間たちの姿が、パークのさらなる活性化につながるよう、今後も積極的に取り組んでいく所存です。

DEI 推進プロジェクトリーダー
森脇順子

1 従業員一人ひとりがお互いを尊重しあう、働きやすい環境づくり LGBTQ+

私たちはお互いを尊重し、人種、民族、性別、性自認、性的指向、性の同一性や表現、宗教、年齢、婚姻状況、国籍、祖先、妊娠および出産、病状、身体的または精神的障がい、法律で保護されている特性や状態にかかわらず、従業員それぞれの固有の視点や個性を“NO LIMIT!”に発揮できる職場づくりに向けて、さまざまな取り組みをすすめています。

その姿勢が認められ、職場におけるLGBTQ+への取り組みの評価指標「PRIDE指標2021」※において、最高賞位である「ゴールド」を受賞しました。

※日本の企業および団体におけるLGBTQ+などの性的マイノリティのダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体「work with Pride」が「企業・団体等の枠組みを超えてLGBTQ+が働きやすい職場づくりを日本で実現する」ために日本で初めて策定したもの



ステッカーやストラップを作成して、ALLYを意思表示しています(ALLYとは、理解し、共感し、寄り添いたいと考えること、人)

■取組例

○人事関連規定における取組み

- ・結婚や配偶者の定義を見直し、事実婚や自治体等の同性パートナーシップ証明を受けた方も対象とする、慶弔見舞金制度や休暇制度等を改定
- ・身だしなみ基準の改定
- ・不妊治療「出生支援休職制度」の導入

○ジェンダーフリーな更衣室やトイレの設置

○状況に応じ個人が希望する姓名の使用可能

○LGBTQ+への社内アライ(支援)の促進

○研修や社内SNSなど従業員向けの理解促進

○社内相談窓口や専門相談員による社外相談窓口の設置



従業員向けのダイバーシティ研修を実施し、LGBTQ+への理解促進に取り組んでいます

2 誰もが輝ける社内環境をめざして NO BORDERS



日本国内における政治経済の分野での女性の活躍の場は限られており、世界との差はなかなか縮まらない現状があります。弊社も同様で、まだ道半ばではありますが、現在女性に限らずすべての従業員を対象に、誰もが垣根なく活躍できる環境づくりをめざしてさまざまな活動を多方面から実践しています。

社内におけるプロモーション活動はもちろん、DEI活動をさらに活性化していくために各本部からメンバーを選出し、分科会を開催。キャリアや家庭との両立などテーマごとに学習や理解を深めています。今後はそれらの社内アクティビティも展開していく予定です。

社長からのメッセージ配信、上層部への理解促進も活発に行い、全社一丸となってさらなる取組みをすすめていきたいと考えています。

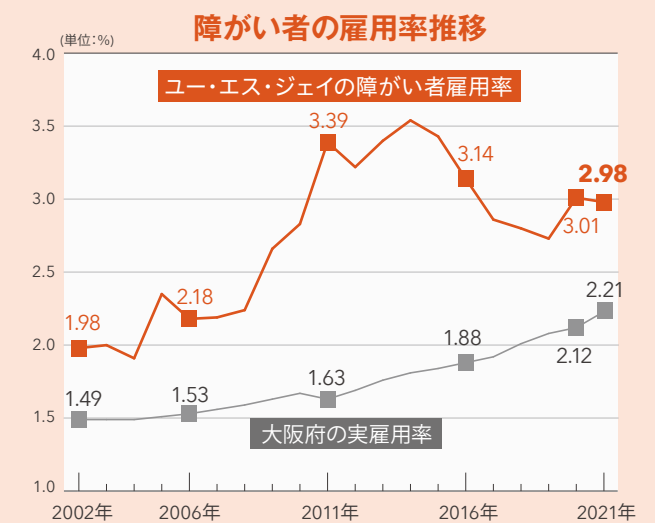
◀ NO BORDERSではDEIのテーマに沿ったテーマ別分科会を立ち上げ、アンコンシャスバイアス研修などさまざまな活動を進めています

3 障がいのある方に活躍の場を 障がい者雇用

弊社では、2001年のグランドオープンより障がいのある方の雇用に取り組んできました。現在の雇用率は2.98%(2021年6月1日時点)で、法定雇用率2.3%、大阪府の実雇用率2.21%(2021年6月1日時点)を大きく上回ります。

担当業務は、デスクワークからパークのオペレーションまで多岐にわたり、障がいの有無にかかわらず、ともに働くことで、思いやりやチームワークを育むと考えています。

また、人事部に障がい者サポートチームをおき、障がいのある従業員だけでなく、外部支援機関やご家族と連携したサポート体制を作っています。さらに、従業員の理解を促進するための社内研修も実施しています。



エンバイロメント(環境)への取り組み



2021年11月、英国のグラスゴーで開催されたCOP26にて、『世界の平均気温の上昇を1.5度未満に抑えるため、温室効果ガスの排出削減強化を世界各国に求める』グラスゴー気候合意が採択されました。このような国際的な要請の中、私たちComcast/NBCUグループは我々のビジネスにおいて、2035年までにカーボンニュートラルを達成することを宣言しました。また、プラスチックや食料廃棄物の削減、水資源の節約に対しても同様に力強い施策を行うべく、具体的な検討を進めています。

私たち合同会社ユー・エス・ジェイは、来場されるすべてのゲストの皆さまが、心の底から楽しんで元気になっていただくためにも、持続可能な環境の実現が重要な課題であると考えています。

これからも、環境問題の改善に向けたパークづくりをさらに進めると同時に、社会への貢献を進めてまいります。

サステナビリティ(環境領域)・タスク・フォース プロジェクトリーダー
海老原陽

1 温室効果ガス排出削減強化への取り組み

世界における温室効果ガスの影響は、現状のままでは今世紀末までに平均気温が2.8度上昇することが予想され、2021年11月に採択されたグラスゴー気候合意では気温上昇を1.5度未満に抑制していくための具体的な方策として、世界中の温室効果ガス排出を2050年までに実質ゼロに抑えることが合意されました。

この結果を受け、国内外の多くの企業が2050年のカーボンニュートラル達成を目標に掲げる中、私たちComcast/NBCUグループは『2035年までにカーボンニュートラルを達成』することを宣言。私たち合同会社ユー・エス・ジェイもこれに連携し、さまざまな省エネ技術や再生可能エネルギー導入の検討を進めると同時に、新技術に関するリサーチ活動も開始。多くの地元企業さまのご賛同、ご協力を得ながら前向きに取り組んでいます。

例えば2021年に試験導入した太陽光発電システムにより充電を行うソーラー充電カート。現在、バックヤードでの移動用カートとして活躍しており、温室効果ガスの削減に大きな威力を発揮すると期待されるものの一つです。このカートには関西の企業が開発した重要な技術である「非接触充電システム」が採用されており、現在は実証実験を行いながら、ゆくゆくは

将来のアトラクション電動化にも生かしていく計画です。

その他、再生可能エネルギーの導入に関しても、限られた敷地であるというユニバーサル・スタジオ・ジャパンの特性に配慮した、新たな技術の導入検討を進め、温室効果ガス排出削減強化に向けた取り組みを進めています。



屋外駐車場に設置した太陽光発電パネルから電力を供給するソーラー充電カート。スムーズな業務に一役買っています

2 プラスチックや食料廃棄物削減への取り組み

環境への新たな脅威として近年、深刻な問題となっている「マイクロプラスチック」をはじめとする廃棄物の問題も、私たち合同会社ユー・エス・ジェイと無関係ではありません。分別などこれまでの取り組みに加え、レストランなどパーク内で使用する食器類の脱プラスチック化の検討も進めています。

また、フードロスに代表される食料廃棄物の問題については、調理時に発生する食品残渣を肥料化し、地元の提携農家さまへ提供。そこで生産された野菜をパーク内のレストランで調理し提供するという、循環システムの導入も計画しています。

これらの取り組みを通じて、ゲストの皆さまが安心して、心の底からパーク内での飲食も楽しんでいただける環境づくりを進めています。



3 水資源の節約に関する取り組み

私たちが生きていく上で欠かせない『水』は、貴重な資源のひとつ。無駄な使用はなくし、未来の子どもたちのためにも大切に扱っていかねばならないものだと考えています。

私たちは2021年、地元大阪の企業の開発による精密な機械加工がなされた特殊な蛇口を、パーク内レストラン厨房の一部に試験導入。年間2,600tの節水を実現しました。2022年以降はパーク全体での導入を行い、年間8,000t以上の節水をめざしています。

また、パーク内を彩るさまざまな樹木は、それぞれの維持や生育に多くの水が必要です。私たちは、この灌水システムをIT技術を用いて高度にシステム化することにより、節水効果をより高めることも計画しています。

限られた資源を大切にする取り組みが、循環型社会への足掛かりになるよう、私たちはこれからも挑戦を続けます。



公民連携・企業連携への取り組み



私たち合同会社ユー・エス・ジェイは、テーマパーク「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」の運営を通じて、地元大阪の成長を牽引すべく、全力で取り組んでいます。地域が抱える課題を把握し、大阪府や大阪市など地域行政との連携を密にとりながら、社会および地域コミュニティが元気になるよう、さまざまな活動を行っています。

社会貢献として、私たちにできることはたくさんあります。例えば観光を重要視する関西、特に大阪では、今後、それらを担う人財がさらに必要とされており、当社がそうした観光都市を担う人財の育成をサポートするなど、さまざまなプロジェクトを計画しています。また、より多くの子どもたちに「学習機会や体験」の提供を行うことにもよりいっそう取り組んでいきたいと考えています。

ユー・エス・ジェイから大阪、そしてアジアへと成長していくことが、関西経済のリーディング・カンパニーである私たちの大きな目標です。私たちと同じ歩みで成長を続ける協賛企業とともにこれからも未来を見据えた活動を行っていきます。

コミュニティ・リレーションズ チームリーダー
奥野智之

1

子どもたちに元気と笑顔！ 支援学校、院内学級の子どもたちへ、クリスマス・イベントを開催

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンのオフィシャル・マーケティング・パートナー、株式会社ローソンと私たち合同会社ユー・エス・ジェイは、2021年12月23日、大阪府立羽曳野支援学校にて、同校で学ぶ子どもたちと、隣接する地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター（以下、大阪はびきの医療センター）の院内学級の子どもたちのために、クリスマス・イベントを開催しました。

大阪府立羽曳野支援学校の会場では、ポップでキュートなクリスマスソングとともに、セサミストリート™の仲間たちによる楽しいショーが始まると、一緒にダンスを踊った子どもたちは最高の笑顔にあふれ、ローソンのオリジナルグッズが詰まったプレゼントが配布されると、体育館には驚きと喜びの声が響きました。

続いて、大阪はびきの医療センターの病棟から外に出られない闘病中の子どもたちに向けても、セサミストリートの仲間たちが病室を訪問し、ローソンのオリジナルグッズが詰まったクリスマスプレゼントを届けました。

医療従事者や保護者の皆さんも笑顔で楽しんでもらえ、一息つける時間としても利用いただきました。

今回の取り組みは、ローソンとユー・エス・ジェイの両社が大阪府との包括連携協定を締結していることから、地域の子ども



たちを笑顔にする活動を行いたいという共通の思いにより、実現したものです。

私たちは今後もパートナーシップを大切に、一人でも多くの子どもたちや彼らを取り巻く方たちに元気と笑顔を提供すべく、さまざまなイベントを企画していきます。

2

実績と事例を若い力に——

大学プログラムの開講

大阪府との包括連携協定のもと、大阪の観光産業を継続的に成長させるプロジェクトの一つとして、2021年10月からの半年間、大阪市立大学の学生を対象とした初めてのマーケティング特別講座「USJ式観光マーケティング」を開催。手応えを得て、2022年4月からは大阪公立大学商学部にてマーケティング講座を開講することになりました。学生の皆さんにとっても、私たちにとても大きな刺激となることは間違いなく、将来の大阪の活性化に繋がる大切な取り組みであると考えています。



では、早速、USJに学ぶマーケティングメソッドについてお話を開始させて頂きたいと思います。

テストプランとして、「マーケティングメソッド」講座(オンライン)を実施しました

3

興奮と感動を社会貢献活動に繋げる——

チャリティ・ディナーショー



会場の「ステージ 33™」と参加者の皆さんをオンラインで繋いで、サイレントオークションを開催。多くの方に参加いただき、盛り上がりを見せました

主要取引先企業のご協力を得て毎年実施しているチャリティ・ディナーショーはユー・エス・ジェイの社会貢献活動の原資にもなる大きなイベントです。コロナ禍の影響を受けた2020年はやむを得ず開催を中止しましたが、2021年は「この大切なイベントを絶やしてはならない」とプロジェクトメンバーが数々の策を練り、オンライン形式で開催。ステージ・ショーやスーパー・ニンテンドー・ワールドからの中継など、参加した多くの方楽しんでいただける新しい形でのイベントとなりました。

※寄付金のみ受付



社長CEO J.L. ボニエが挨拶しました

コロナ禍の地域の子どもたちのための活動

新型コロナ感染拡大の影響を受け、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。私たちユー・エス・ジェイは、子どもたちが未来に明るい展望を持てる、よりよい環境づくりをサポートできるよう、これからもさまざまな取組みに尽力していきます。

小中学生にタッチペンをプレゼント



2021年12月9日に行われた贈呈式では、パークからウッディーやウィニーも駆けつけ、会場を盛り上げました

コロナ禍において授業のDX(デジタル・トランスフォーメーション)化が急速に進み、パソコンやタブレット端末などの活用が増えたことを受け、此花区役所や学校関係者との協議の上、地元である大阪市此

花区の小中学生へ利便性の高いタッチペンを寄贈しました。本寄贈は、弊社の全従業員を対象に「此花区の子どもたちへ」のテーマで実施した募金活動により集まった寄付金を原資として行ったものです。

これからも地域の子どもたちにとってのよりよい環境づくりとサポートをめざし、地域との連携を深めていきます。

将来を考える良い機会に——USJキャリアプログラム

コロナ禍で、例年実施してきたUSJワNDER・キッズ・プログラムが中止になり、「コロナ禍であっても中学生が将来について考える機会を備えたい」という地域からの声を受け、此花区と区内の市立中学校(3校)、ユー・エス・ジェイの共同により、『USJキャリアプログラム』を実施しました。ユー・エス・ジェイの社員が中学校に出向き、キャリアについて語る機会というのは、初めての試みです。

社員自身の経験や働くことに対する考え方をはじめ、キャリアを考える第一歩は好きなことを見つけること、その好きなことを見つけるために知らないことを知る方法、などを社員スピーカーそれぞれが語り、中学生の皆さんは真剣な表情で聞き入っていました。社員スピーカーにとっても得るものが多く、今後も取り組んでいきたい貴重なプログラムとなりました。



子ども食堂への提供など、これからも地域の子どもたちを細やかにサポート



「地域の子どもたちに元気をお届けしたい」という活動は、私たちの普遍的な願いです。2021年は、地元の子ども食堂へパークの人気フードを提供し、たくさんの笑顔に出会いました。

私たちはこれからも、社会の状況や地域の環境に寄り添い、子どもたちをサポートするさまざまな活動に取り組んでいく予定です。

さまざまな人々の心に寄り添う取組み

私たち合同会社ユー・エス・ジェイは、地域コミュニティの皆さまをはじめ、多くの方の希望を後押しする活動も重視しています。私たちをいつもサポートしてくださる地域や多くの方を思い、さまざまな取組みを続けています。

子どもたちに“夢のパーク体験”を届ける『ワNDER・ツアー・フォー・ユー』始動

開業以来、難病と闘う子どもたちの夢の実現を支援する公益財団法人メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンとの連携を続け、50名以上のお子さまたちをパークに招待した実績のある私たちは、このたび史上初の夢プロジェクト『ワNDER・ツアー・フォー・ユー』を開始しました。これはコロナ禍での感染リスクの回避からパークへの体験が叶わないお子さまたちに、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの高い技術力を駆使し開発した映像演出とVRゴーグルで、病室からでも臨場感あふれるパーク体験を楽しんでもらえるプロジェクトです。

これらの活動をはじめ、さらなる連携強化のために、弊社はメイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンのパートナー企業にも任命されています。



社長CEO J.L. ボニエとメイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン 鈴木局長

医療従事者の皆さんをはじめ、多くの方にエールを送るブルーライトアップの実施



緊急事態宣言発令中の2021年5月4日、私たちは医療従事者の皆さまに感謝の意を表すとともに、ステイホームをはじめ数々の制限の中で“がんばる”多くの方に向けてエールを送る、ブルーライトアップを実施しました。

今回は、パークの象徴「ユニバーサル・グローブ」のブルーライトアップに加え、パークで活躍する3人のヴァイオリニストたちが一夜限りのエンターテインメント・ショーを開催。その模様はパーク公式SNSで配信され、多くの方が楽しめました。

コロナ対応の病院へ寄付を実施

2021年12月9日、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンのある大阪市此花区内で唯一、コロナ陽性者の受入れを行う大阪 暁明館病院の医療従事者の皆さまに、弊社従業員有志で集めた寄付金を贈呈しました。代表の看護師の方より、「2021年はひっ迫した状態が続きました。今回、ユー・エス・ジェイの皆さんが医療の現場について大切に思ってくださったことを知り、たいへんうれしいです」とメッセージをいただきました。



大阪府育英会USJ奨学金制度

「大阪府育英会USJ奨学金制度」とは

合同会社ユー・エス・ジェイが若者たちの未来をサポートする社会貢献の一つとして、「大阪府育英会USJ奨学金制度」(以下、USJ奨学金制度)にも取り組んでいます。

進学に際して経済的な支援が必要な高校生を対象に、給付型(返済不要)の奨学金を提供するもので、2011年の創設以来、2021年時点では135名のUSJ奨学生を数えるまでになりました。未来ある若者たちが積極的に将来絵図を描ける環境を私たちはサポートしています。



▲第11期奨学生認定式(2021年)

USJ奨学生への応募が、将来への大きな起点に。

USJ奨学生オンライン座談会

それぞれの将来に積極的に取り組み、生き生きとした毎日を送っていらっしゃるUSJ奨学生の皆さん。今回、4名の方にお集まりいただき、USJ奨学金制度についてお話をおうかがいしました。

【開催日:2021年11月3日 / 開催形式:リモート】



▲当日のオンライン座談会の様子

- 小林晴香さん(左上) 特別支援学校(小学部)教諭。高校時代から教育に興味があり、現在は夢を実現
- 松本麻稀さん(右上) 大学4年生。USJ奨学金制度を知り、将来についてポジティブに考えるように
- 吉田末空さん(左下) 大学2年生(看護学部)。看護師になることがかねてからの夢。現在は老年看護学にも興味をもっている
- 加藤こよみさん(右下) 体育大学の3年生。ダンスや音楽など、エンターテインメントを勉強中

USJ奨学金制度は、奨学生一人ひとりの夢をサポートしてくれる、心強い制度

——(司会:以下省略) 今日はお集まりいただきありがとうございます。まず、USJ奨学金制度を知った経緯、またその内容にどんな感想をお持ちになったか、教えてください

加藤(以下敬称略) 進路に悩んでいたときに学校で配られたチラシで知りました。

松本 大学に通いたいなあとは思っていたのですが、奨学金制度については考えていませんでした。担任の先生に教えてもらって知りました。

吉田 私はパンフレットをもらって知りました。大学に行きたかったのですが、給付型であることはとても心強かったです。

小林 私もポスターを見て知りましたが、給付型はほんとうに貴重です。

松本 ほかに、対面で認定式を開催してくださったり、チャリティイベントに招待してくださったり。USJ奨学生なんだと自覚を持たせていただける点も大きな特長です。

加藤 夢をものすごく応援してくださっていると感じます。

——ありがとうございます。USJ奨学金制度の選考にいたるまで、また奨学生に決定後、皆さんの中で何か変化したことはありましたか?

吉田 もともと看護師になりたいという夢をもっていたのですが、

選考に向けての小論文を書く際にじっくりと将来について考えることができたのは、私にとって大きな力になったと思います。奨学生に決まってから、ほかの進路についても考えてみたのですが、やはり看護師以外には考えられないと改めて確信できました。

小林 進路については漠然と考えていて、学部を選択などに迷いがありました。奨学生に認定していただいたことにより、支援教育に進もうと決意できました。誇りをもって前に進むことができたと思っています。

加藤 私はエンターテインメントを勉強したいと思っていて、大学以外にレッスンにも通わなくてはいけないので、アルバイトと勉強の両立に不安がありました。USJ奨学生に選んでいただいて、大学に行く勇気をもらいました。

松本 奨学生に決まって、大学受験にポジティブに取り組めたことが大きかったです。その結果、理想の大学に受かることができ、将来についても前向きに考えられていると思います。

吉田 認定式で事務局の方から「当初の夢が変わっても一向にかまわない」という言葉をいただき、すごく自由な気持ちになれました。今、興味を持っている老年看護学をはじめ、まだ学んでいない分野もたくさんありますので、どんどん勉強していきたいと考えています。

一人ひとりの未来に向けて一歩一歩前進!

奨学生同士の絆も深めていきたい

——将来の夢を教えてください

小林 今、小学生を担当しているのですが、一人ひとりが何かを達成したときや、いろいろな面での成長が見られたときに、「素敵な仕事だなあ」と実感します。これからも目の前の仕事にコツコツ取り組みつつ、児童や保護者の皆さんと真摯に向き合って、信頼関係を築きあげていきたいです。学校や地域にとって、「いてよかった」と

思われるような存在になることが目標です。これまでお世話になってきた大阪に、お返ししていくことにも繋がると 생각합니다。

松本 将来は、エンターテインメントの文化が根付いていない国で劇場を運営すること、また障がいのある人も自由に働ける社会づくりに貢献できるような企業をつくってみたいと考えています。私には重度の障がいをもつ家族がいて、いつも寂しそうな表情をしているので、もっと楽しい毎日を送れるような手助けができないかなと思ったことがきっかけです。施設内しか知らない人ももっともっと広い世界を楽しめる、そんな社会づくりに、私も積極的に尽力したい気持ちでいっぱいです。

加藤 部活では目標にしていた大会で受賞することができ、声楽のコンクールでも賞をいただくことができました。目標にしている劇団があるので、プロになることをめざして、一日一日頑張っていきたいと思っています。やはり、継続は力です。たまに疲れてしまって、逃げ出したくなることがありますが、休憩してからでも必ずやり遂げるようにしています。プロの方は礼儀に対しても一流なので、学ぶことはまだまだたくさんあります。コロナの影響で、ダンサーの皆さんの活躍できる場が減少したことがありましたが、少しでも状況が改善するようなことに少しでも取り組んでいければと考えています。

吉田 これまでの目標を極め、看護師として頑張っていきたいと考えています。看護と一口にいっても幅広い内容があるので、あらゆることを積極的に学んでいこうと思っています。楽器演奏や演劇活動など趣味も継続し、日々も充足させていくつもりです。もう一つの夢は、コロナの影響で、奨学生の交流が少なくなってしまったので、同期生やOBの皆さんとお会いしたいことですね。奨学生ならみんな感じていると思うのですが、やはり奨学生同士ですと、深い部分までお話しすることができ、たくさんの刺激をもらえます。繋がりが特別ですので、早く皆さんとお会いする機会が欲しいなと思います。

——皆さんの有意義なお話をおうかがいし、USJ奨学金制度をさらに充実していきたいと思っています。本日はありがとうございました。

Topics

「大阪府育英会USJ奨学金制度」の大阪府育英会への寄付に対して内閣府より紺綬褒章を受章

ユー・エス・ジェイが2011年より取り組んでいる「大阪府育英会USJ奨学金制度」。本奨学金制度の原資を大阪府育英会に寄付したことが評価され、紺綬褒章を受章しました。私たちは今後もこの制度を通して夢を叶えたい高校生を応援し続けたいと考えています。

■紺綬褒章とは
公益のために私財を寄付した功績が顕著な個人または法人・団体に対し、内閣府より授与される褒章

▼USJ奨学金制度について詳しくはこちらをご覧ください
<https://www.usj.co.jp/company/about/csr/service.html#scholarship-system>

これまでの受賞や評価

2018年7月	紺綬褒章を受章 大阪府育英会への奨学金寄付
2019年12月	神戸キワニス社会公益賞を受賞 児童福祉行政への貢献
2020年5月	紺綬褒章を受章 大阪府育英会への奨学金寄付
2020年12月	環境省「みんなで減らそうレジ袋チャレンジ」 優秀サポーター特別賞を受賞 エンターテイメントを通じた環境意識啓蒙活動
2021年10月	「大阪市 LGBT リーディングカンパニー」認証 最高評価となる三つ星認証事業者として認定 紺綬褒章を受章 大阪府育英会への奨学金寄付
2021年11月	「PRIDE指標2021」評価指標 最高賞位である「ゴールド」を受賞

各種感謝状授与

大阪府	・大阪府育英会USJ奨学金 ・USJワンダー・キッズ・プログラム招待
大阪市	・福祉施設への車両寄贈 ・USJワンダー・キッズ・プログラム招待 ・物販商品寄贈
堺市	・福祉施設への車両寄贈 ・USJワンダー・キッズ・プログラム招待 ・物販商品寄贈
大阪府育英会	・大阪府育英会USJ奨学金における感謝状
社会福祉法人 東京都社会福祉協議会	・物販商品寄贈

合同会社ユー・エス・ジェイ
〒554-0031 大阪市此花区桜島2丁目1番33号
当社の許可なく複製・転載することは禁止されています
2022年発行 Published in 2022

一部画像はイメージです。パークでは衛生強化対策へのご協力をお願いします。詳しくは公式WEBサイトをご確認ください



NO LIMIT!